

2019年6月12日

千葉商科大学、株式会社 日刊工業新聞社

日刊工業新聞社と千葉商科大学は 「第3回わが社のSDGs勉強会」開催します。

日刊工業新聞社（代表取締役社長：井水治博、本社：東京都中央区）と千葉商科大学（学長：原科幸彦、千葉県市川市）は、持続可能な開発目標（SDGs※1）を経営・事業に活用したい企業などを支援する「わが社のSDGs勉強会（全3回）」を2018年11月より開催しています。最終回3回目は6月20日、千葉商科大学で開催します。

事前申込制・無料です。

大学とメディアが連携するという、これまでにない枠組みで「わが社らしく、経営・事業にプラスとなる」SDGsを学び、活動をスタートする目的です。

2018年に創立90周年を迎えた千葉商科大学は「商業道德教育」を建学の精神としています。

日刊工業新聞社はSDGsの普及に努める世界の報道機関グループ「国連SDGメディア・コンパクト※2」の創設メンバーの1社です。本勉強会は、企業等が良識を持って安定的に成長を遂げるためにSDGsの考え方を学び、実践する場を創りたいという想いを持っています。千葉発のSDGsモデルの創出も目指します。

※1 Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称。15年9月の国連総会で採択された。社会、環境、経済の課題を解決した未来像を目標として描いた。

※2 SDG Media Compact 国連が18年9月、創設を発表。参加メディアは国連とのコンテンツパートナーシップを築き、SDGsの普及につながる報道に努める。

【第3回の概要】

勉強会は毎回、識者を招いて知見や事例、課題解決策を共有します。

【日時】 2019年6月20日（木） 16:30～18:30

【会場】 千葉商科大学（千葉県市川市）

【定員】 130名（事前申し込み制／無料）

【主なプログラム】

<ショートプレゼン/SDGsのアップデート2019>

- ・ 笹谷 秀光／CSR/SDGs コンサルタント、社会情報大学院大学 客員教授
- ・ 原科 幸彦／千葉商科大学 学長

<個別テーマセッション>

テーマ①【SDGsにおけるトップマネジメントとは（仮）】

笹谷 秀光／CSR/SDGs コンサルタント、社会情報大学院大学 客員教授

テーマ②【中堅・中小企業の SDGs— どうスモールスタートさせるか

— 直面する課題とこれから（仮）】

- ・橋本 隆子／千葉商科大学 副学長、国際センター長、商経学部教授
- ・杉浦 克子／(株)ビッグアイ（習志野市） 代表取締役社長
- ・松木 喬／日刊工業新聞 記者（編集委員）

>詳細・申し込みは事務局 (<https://biz.nikkan.co.jp/sdgs/>)

【日刊工業新聞社について】(<https://corp.nikkan.co.jp/>)

1915年（大正4年）、日刊工業新聞の前身「鉄世界」が創刊。それ以来「モノづくり」に特化したオンリーワンのメディアとして、ビジネスに役立つ情報発信に努めてきました。

2015年11月には創刊100周年を迎え、現在、全国43ヶ所の取材ネットワークを駆使し、上場企業だけでなく中小企業の動向にも目を光らせ、最新かつ信頼性の高い情報を収集しています。産業紙のジャンルを切り拓いたパイオニアであると同時に、幾多の変遷を経て、産業の総合情報機関として確固たる地歩を占めています。新聞を中核に、出版、電子メディア、イベント、教育などのあらゆる事業を通じて、ビジネスに役立つ情報を発信しています。

【千葉商科大学について】(<https://www.cuc.ac.jp/>)

1928年（昭和3年）、巢鴨高等商業学校としてスタートした千葉商科大学は、2018年に創立90周年を迎えました。実学教育を通じて「大局的見地に立ち、時代の変化を捉え、社会の諸課題を解決する、高い倫理観を備えた指導者」である「治道家（ちどうか）」を育成することを教育理念に掲げています。近年では社会の変化に応じて学部を新設し、5学部7学科5研究科の幅広い学びを展開しています。2014年には、創立100周年に向けた将来構想「CUC Vision 100」を定め、「社会科学の総合大学」としての基盤固めに全学一丸となって取り組んでいます。

【本件に関する報道機関からのお問い合わせ先】

株式会社日刊工業新聞社 総務局 広報宣伝担当

TEL：03-5644-7016 FAX：03-5644-7100